

ふかめる

# 地球ひろば

とも 共につくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)  
https://www.jica.go.jp/hiroba/

ミャンマー②



- 国名 ミャンマー連邦共和国
- 面積 68万平方キロメートル(日本の約1.8倍)
- 人口 5337万人(2017年、世界銀行)
- 民族 ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
- 言語 ミャンマー語、シャン語、カレン語、英語
- 宗教 仏教(約90%)、キリスト教、イスラム教など
- 時差 2時間半(日本が進んでいる)

## 安心して飲める水を

### 水道を整備し「もれなく」届ける

ミャンマーの代表的な祭りに「水かけ祭り」があります。大量の水をかけ合い1年のほこりを洗い流す、新年を迎えるための伝統行事です。祭りで水をかけ合うぐらいですから、ミャンマーは、決して水源がとばしい国ではありません。しかし「安心して飲める水」はとても少ないのです。

きゅう はってん  
急な発展  
ふる せつび  
古い設備



ヤンゴンのあちこちで建て替え工事を行っています

ミャンマー最大の町、ヤンゴン市の水道水は、市役所の水衛生局が配っています。しかし水道管を通じて給水を受けているのは人口の約3分の1で、蛇口から水が出ない日も少なくありません。住民の多くはボトル入りの水や、地下水を井戸からくみ上げ、水を手に入れています。

ヤンゴンの水道は、約100年前に造られた設備を使い続けています。近年、町が急に発展し、人口や建物が増えたため、水そのものや、配るための施設が足りていません。また、古いパイプから漏れてしまうこともあります。私たちは水漏れの探し方や修理の仕方、水漏れを防ぐ方法など、水道管の整備に



水道管へのバルブと流量計の取り付けを学ぶ職員

かかわるさまざまな技術を、水衛生局の皆さんに伝えています。

### サービスを続けるために

水道水を使うお客さんは使用料を払います。この使用料が収入となって、水を届ける「水道サービス」を続けることができます。水漏れや使用量を測るメーターが壊れていると、正しい水道料金を得られず、資金不足でサービスを続けることができなくなってしまいます。

水道水が届く地域を広げ、水をきれいにする施設を造るなど、質の高い水道サービスを実際にどうやって維持していくのか、ミャンマーの人たちは計画を立てています。例えば、将来の水道料金を考えることもその一つで

JICA水道プロジェクト  
副チーフアドバイザー  
大野敦生さん



水道用製品のメーカーに勤務後、イギリスへの留学を経て、国際協力分野の仕事に。2015年7月から、ミャンマーで水道プロジェクトの副チーフアドバイザーとして働いています。アジアやアフリカの国々で、安全な水を住民に届けるお手伝いをしています。温厚でまじめで、信心深いミャンマーの人と日本人は相性も良く、毎日楽しく仕事をする事ができています。



水道の水質をチェックしています

す。こうした計画作りへのアドバイスも、私たちの仕事です。

### 日本の当たり前をミャンマーに

最大都市ヤンゴンの水道水は、地下水や貯水池の水がそのまま流されていることも多く、そうした水で洗濯をするとシャツが茶色くなります。消毒されていないこともあり、うっかり飲んでしまうと、おなかを壊してしまいます。

透明で蛇口からそのまま飲める水道水がある日本の技術を生かそうと、まじめで熱心なミャンマーの人たちは、私たちが教えることを一生懸命に吸収し、分からないこと、改善しなければいけないことを一緒に話し合っ

## はじめよう SDGs

しら 調べてみよう  
かんが 考えてみよう



Q1 私たち日本人は1人当たり毎日どれくらいの水を使っているかな。  
①約3ℓ ②約30ℓ ③約300ℓ

Q2 世界の9人に1人が、自宅から片道15分以上歩かないと水が得られない場所に暮らしています。そうした地域の子どもの生活には、どんな影響があるかな。

A1 ③300ℓ。2ℓのペットボトルに換算すると150本分。思ったよりも多いと思います。どんな場面でもくみ取り水を使っているか振り返ってみましょう。  
A2 水をくみに行き、重たい水を運ぶことは珍しくなく、時間のかかる重労働です。多くの場合、水くみは子どもの仕事で、学校へ行くついでに行かれています。水くみの道のりは短くないことも多く、特に女の子は薬力殺菌の危険もあります。

私たちの体の70%を占める水は命の源です。飲み水からトイレまで、生活になくてはならないもので



### 飲み水からトイレまで

SDGsゴール6は、安全に管理された飲み水とトイレを、世界中の人が使えることを目指します。蛇口から簡単に飲めて、使える水から、世界を取り巻く問題を考えてみましょう。私たちには何ができるのでしょうか。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)  
2015年に国連の場で加盟国が決めた30年までの世界の目標です。



す。しかし、世界では、10人に3人が安全な水を自宅でも得られず、農村部に住む人の半分以上は清潔なトイレを使えていません。こうした現状を背景に、北アフリカや西アジア地域を中心に、5歳未満の子どもが毎日1000人以上も、下痢で命を落とすという状況が広がっています。下痢は手を洗う、つけんや安全な水があれば防げる病気です。